

霧島酒造株式会社（宮崎県都城市）

「人（顧客・従業員）」中心のDXで 未来を創り出す“変革”に挑む！

課題・背景

- ✓ **今後の市場リスク**：サツマイモ基腐病や生産農家の高齢化等による原料調達の不安定性、包装資材の価格上昇、焼酎市場縮小傾向、ライフスタイルの多様化。
- ✓ **社内からの問題提起**：部署ごとのシステム導入により、サイロ化が起きており、データが繋がらず、無駄が発生しがちであった。実施した社内アンケート調査（2021年4月）結果から、デジタル技術導入による発展可能性の示唆を得た。

改善（進行中）

- ✓ **DX勉強会**：2021年4月以降、都城市や、取引先企業等に講師を依頼してDX勉強会を20回実施。ワークショップでは、消費者のカスタマージャーニーを見直し、顧客接点を再考するきっかけに。勉強会を経て、2022年4月にDX推進本部を新設。
- ✓ **あじわいDX**：クラウド基盤上に、各システムからのデータを集め、在庫管理の半自動化に向けてAIによる出荷予測モデル構築にチャレンジ中。
- ✓ **くつろぎDX**：SalesforceCDPや、SalesCloudを導入し、消費者の嗜好データなどに基づいた1to1コミュニケーションの実現と、取引先へのデータに基づいた提案活動にチャレンジ中。
- ✓ **ひとづくりDX**：デジタルへの懸念を払拭し、働きがいをもって仕事ができるよう、DXリテラシー標準に沿ったE-Learningによるリスキリングを実施中。



全ての部署で改善出来るところがあり、
焼酎造り・クラシカルバイオテクノロジーを、
更なる発展へと導けると信じています。

代表取締役専務 江夏 拓三氏

成果・ 嬉しかったこと

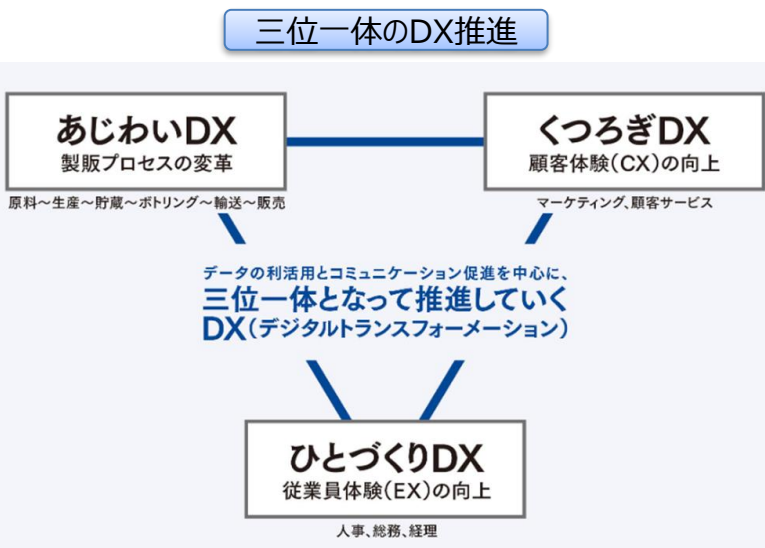
大胆な変革のためには経営層のリーダーシップと全社員の協力が不可欠ですが、その基盤ができつつあります。

DX推進本部 副部長 松尾 忠洋氏



主な事業内容：酒類の製造及び販売、レストラン事業
焼酎売上高は10年連続国内1位（※帝国データバンク調べ）。
霧島山の麓である都城盆地の地下水のほか宮崎県産のさつまいも、
国産米を中心に原料と品質にこだわった「地域密着型農産物加工
業」を展開。自然環境の保全と地域社会との共生も社会的責任と
し、関係企業と連携したSDGsな活動も積極的に行う。

従業員：610名
HP：<https://www.kirishima.co.jp/>



今後 サプライチェーン全体での競争力強化に向けて、社内DXだけでなく
農家や取引先も含めた“地域全体でのDX”を進めていきたい！